

同委員会(委員長・松野久郎、副委員長・伊藤勝美)は、9月14日に審査を行いました。委員会では、市当局への質疑の後、さらに慎重な審査が必要なものであるとして、継続審査とすることに決定しました。

最終日(9月22日)、本会議において、委員長から継続審査申出書の提出があり、継続審査とすることに決定しました。



直接請求とは？

地方自治体が行う地方行政に、住民の意思を直接反映させる制度です。

地方自治法第74条では、住民の代表者が有権者の50分の1の署名をもって、条例の制定や改廃を地方公共団体の長(市長)に請求できるとされています。

※直接請求の内容は4ページに掲載しています。

◎指定管理者の指定について

みやぎ蔵王白石スキー場・白石市南蔵王休憩所の2施設は、令和4年11月30日で指定管理の期間が終了することから、改めて指定管理者を指定するものです。

●指定管理者となる団体

特定非営利活動法人

不忘アザレア

●指定の期間

令和4年12月1日から
令和9年5月31日まで

※指定管理者の事業年度変更に伴い、指定期間の終期を5月31日に変更しています。

予算

◎令和4年度白石市一般会計 補正予算(第5号)

これまでの歳入歳出予算にそれぞれ4億5千345万5千円追加し、予算総額を175億1千623万6千円とするものです。
主な内容は次のとおりです。

○集会所等建設事業補助金
1千51万6千円

○新型コロナウイルスワクチン接種事業
1億6千5万3千円

○災害廃棄物処理事業
1千13万5千円

○森林経営管理推進事業
1千388万円

○道路維持補修費(除雪関連経費)
6千501万円

○市道改良整備事業
1千700万円

○公共土木施設災害復旧事業
1千413万6千円

○文教施設災害復旧事業
3千294万7千円

本会議質疑より

◎令和3年度白石市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について

〔質疑〕令和3年度決算を受け、本年度の残りの施策や市政運営、来年度の予算編成にどのようにつながっていくかと考えているのか伺う。

〔答弁〕令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、地方交付税や地方特例交付金、臨時財政対策債が大きく増加した。その結果、財政状況の主要な指数である経常収支比率や実質公債費比率が大きく改善したが、これは臨時的な改善であると考えられる。

今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては経済活動に大きな影響を与え、景気動向は依然として不安定になるものと考えられる。

ここ数年、台風や地震などの大規模災害に立て続けに見舞われ、その災害復旧事業や防災への備えが必要な状況にある。さらに、公共施設等の老朽化対策、高齢化の進行に伴う扶助費の増加、行政のデジタル化関連経費の増加など、本市の取り組みべき課題は山積している。

現在、第六次白石市総合計画に基づく各種施策に取り組んでいるが、少子高齢化、人口減少を最小限にとどめ、安全・安心な生活ができるよう、持続可能な、効率的で質の高い行政

サービスの実現を目指すことが大きな課題である。

その対応策として、集中改革プラン(第四次改訂版)に、安定的な財政基盤の確立として、自主財源の確保、経費の節減と合理化、予算の重点配分を掲げているが、特に自主財源の確保は重要な課題である。

今後の予算編成や事業計画については、限られた財源をどこに重点的に投資していくかという、選択と集中がさらに重要になると考えている。

〓意見ありがとうございました〓

白石市議会の議員定数・議員報酬改正(案)に対するパブリックコメントを実施したところ、33名の方からご意見をいただきました。いただいたご意見は、市議会ホームページで公表いたします。